

※令和4年4月28日時点

## 1. 志摩市と伊勢志摩国立公園

- 志摩市は、伊勢志摩国立公園のリアス海岸に代表される海沿いのエリアに立地。市のほぼ全域が国立公園内
- 人々の暮らしと共にある国立公園
- SDGs未来都市に選定（H30.6）
- 三重県で初めてゼロカーボンシティを表明（R2.2）
- 日本で2番目のゼロカーボンパークに登録（R3.6）



## 2. レンタサイクルの推進による二次交通のCO2排出削減

- 伊勢志摩国立公園の二次交通の脱炭素化を図る取組として、平成28年度に Bicycle Journeyを開始し、専用サイトを設置・運用。
- 地域の玄関口である駅前にレンタル場所を開設し、サイクリングコース・ツアーを提案。
- バイクの種類：電動自転車、クロスバイク、ファットバイク等
- Eバイク等の新型モビリティを導入予定。
- 年間利用台数：R1年度 746台 → **1500台**（R7年までに）



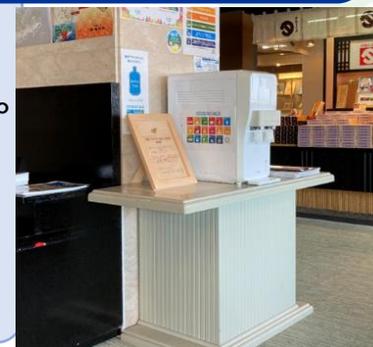
### 3. 公共交通の利用促進によるCO2排出削減

- ・マイカー観光に比べ環境負荷の小さい公共交通観光を推奨することにより、ゼロカーボンパークを推進。
- ・観光における鉄道利用の促進を目的に、近畿日本鉄道と志摩市が連携し、鉄道利用を前提とした旅行商品の造成、企画列車の運行等を実施。
- ・近畿日本鉄道が志摩市をはじめとする沿線自治体と連携し、サイクルトレインの運行を実証的に実施。



### 4. ウォーターサーバーの設置による脱プラ・脱炭素の機運醸成

- ・市内全域における脱プラ・脱炭素の機運醸成が高めるため、ゼロカーボンパークとして初めてマイボトル等で利用できる給水機を導入。
- ・市内の公共施設や宿泊施設などに、合計29台を導入。（R4.4現在）
- ・市内の介護施設やホテルの各フロアなどにも追加導入予定。
- ・現在、志摩市オリジナルマイボトルを作成中。
- ・[浄水器レンタル事業者との協定](#)を結び、SNS等で取組を市民に広報。



### 5. 海洋ごみのアップサイクル

- ・アパレルメーカーと連携し、市内で回収した海洋ごみを環境価値の高い製品に変換する循環型の取組を推進。（R2～）
- ・東京・大阪の店舗にて、市内回収した海洋ごみを一部活用した[Tシャツ](#)を販売中。（R3.10～）
- ・海洋ごみを収集するための専用ストッカーも設置し、ごみを投入した方にはエコアクションポイントを付与。



## 6. 市の補助事業を活用して整備された環境配慮型サテライトオフィス

- ・「海から地域と地球の課題を解決する」というビジョンを掲げ、地域・技術・海の3循環【Blue Cycle】の実現による課題解決を目指したサテライトオフィス「CO Blue Center」（以下CO）が誕生。（R4.3）
- ・環境適応型の超節水農業を行う世界初の海水農業の研究ハウスが併設。
- ・将来的にCO2を出さないオフィス群に発展予定。
- ・東海地区有数のサーフスポットである国府白浜から徒歩120秒の場所に立地。
- ・「安らぎながら働ける」がコンセプトであり、ワーケーションに最適。
- ・海のあるゼロカーボンパークとして、先進地域を目指す。
- ・令和4年度以降、コーヒースタンド、蔵サウナ等を開設予定。



【写真提供：REP inc.】

## 7. CO2吸収源となる沿岸域の藻場・干潟の再生

- ・志摩市沿岸は重要海域及び重要湿地とされており、観光や水産業の基盤でもあることから市内4ヶ所で干潟の再生事業を実施。
- ・地域住民との協働でアマモ場の再生を実施し、CO2の吸収源の増加に取り組む。
- ・市民と協働したアマモ場再生、モニタリングに取り組中。
- ・環境省と共同で行う環境教育の実施。（自然観察会）



## 8. 地域の脱炭素化に向けた体制づくり

- SDGs・ゼロカーボンの達成や持続可能なまちづくりを目指し、志摩市とともにパートナーシップで取り組んでいただくパートナーのプラットフォームを設立（R3.10～）
- 志摩市とパートナーが連携し SDGs・ゼロカーボンの取組を促進することにより、地域課題の解決や地域の活性化、持続可能なまちづくりのための好循環を創出。
- 現在、**100**を超えるパートナーが登録されている。（R4.4時点）



## 9. 環境省における対応

- 現地の地方環境事務所の伴走支援、ビジターセンターでのRE100導入、横山展望台におけるウォーターサーバーの設置等により市の脱炭素化の取組を後押し。

